

【資料1】

令和4年度 経営発達支援事業報告書

経営発達支援事業では、計画期間（令和4年度～令和9年度）の年度ごとに事業評価委員会を開催し、当委員会において事業実施状況を報告して、事業年度の事業評価を行うとともに、事業評価を基に次年度以降の事業実施計画を見直すことになっている。

令和4年度の経営発達支援事業の実施状況は以下のとおりである。

1 経営発達事業計画

計画期間 令和4年4月～令和9年3月（5年間）

計画認定	令和4年3月18日
伴走型補助金	令和4年度交付決定額 167千円（計画実行型）

2 令和4年度実施事業の内容等

経営発達支援事業の取組方針・年度別実施状況（別紙・資料2・3）のとおりに

総括：今年度は、鬼北町商工会第二期経営発達支援計画の初年度となり、第一期計画からの改善点を加味した上での計画事業の実施となった。しかしながら年度当初～中盤にかけて新型コロナウイルス感染症の影響、また年度後半からは物価高騰等経営環境の激変により経営状況が悪化した事業支援や町単独の経済対策事業等に注力し、当初の計画どおりには実行が出来なかった状況がある。

したがってセミナー開催や展示会出展（リアル出展）は計画どおりにはいかなかったものの、代替事業や、個別相談による伴走型支援により、当初計画と比べても十分に効果がある支援が実施できていたと思われる。

なお、計画外の事業においても、経営発達支援事業の目的である事業者の計力強化、廃業防止、リスク軽減等に寄与できる支援を実施しており、経営環境変化に合わせた柔軟な支援が実施できたと考える。

3 今後の予定

今年度第二期計画の1年目が終了したが、コロナ禍等により一部計画の進捗が十分でない事業も散見される。しかし、5か年の計画を総合的に考え、次年度以降に向けた準備は出来ている状況である。次年度以降から本格的に事業遂行を実施し、計画時の目標値を上回る成果が出せるよう、従来の事業に加え、伴走型補助金等を活用したセミナー開催、展示会出展支援等を随時実施していきたいと考える。

また、職員の人事異動等に備え、支援ノウハウの共有をより推進していく必要があるため、組織内グループウェア・基幹システム等を活用したノウハウや情報の具体化・インプットを定型化していき、支援能力の向上、組織力の強化に努めていく。

【凡例】

区分	(計画)	(実績)
○	あり	実施
△	変更	一部
×	なし	未実施

【資料2】 経営発達支援計画実施状況表

事業分類	支援計画の事業項目	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
3 地域の経済動向調査等	① シンクタンクの情報を活用した愛媛県内の経済動向調査	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				
	② 地元金融機関と連携した宇和島管内の経済動向調査	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				
4 需要動向調査に関すること	① 消費者ニーズを捉えるための需要動向調査	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				
	② 商談会におけるバイヤーへの需要動向調査	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				
5 経営状況の分析に関すること	① 個別指導を通じた経営分析支援	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				
6 事業計画策定支援に関すること	① DX推進セミナー	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				
	② DX専門家派遣	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				
	③ 事業計画策定セミナー	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				
7 事業計画策定後の実施支援に関すること	① 四半期ごとの進捗状況確認(第1～3四半期)	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				
	② 計画・実績の検証(第4四半期)	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				
	③ 公的施策の活用促進	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				
8 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	① 「えひめのすご味・すごモノ商談会」への出展	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				
	② 「ニッポン全国物産展」への出展	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				
	③ DX活用による販路開拓支援	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○				

【資料3】

経営発達支援事業の取組方針・年度別実施状況

<事業区分> 3 地域の経済動向調査に関すること

<p>取組方針</p>	<p>第1期計画での実施状況を踏まえ、調査内容の範囲と項目を増やすとともに、地域の特徴を捉えた上で専門的な分析、情報提供が必要であることから県内シンクタンクや管内経済団体が参加する会議等で得られた経済動向情報を小規模事業者の経営策定に活用できるように提供する。</p> <p>① シンクタンクの情報を活用した愛媛県内の経済動向調査 ② 地元金融機関と連携した宇和島管内の経済動向調査</p>	
<p>実 施 事 業 の 概 要</p>		
<p>年度</p>	<p>事 業 概 要</p>	<p>摘 要</p>
<p>R4 年度</p>	<p>① 県内経済動向の把握及び情報公開 (株)いよぎん地域経済研究センター発行「調査月報 IRC」活用による県内経済動向の把握及び調査内容を「商工会だよりきほく」にて公表。 ② 宇和島管内の経済動向調査 日本政策金融公庫宇和島支店において開催されたマル経協議会内で管内商工会・商工会議所・日本政策金融公庫が保有する経済動向情報の調査・集積を実施。</p>	<p>毎月の発行情報を基に調査。計4回の情報発信 7月に実施</p>
<p>R5 年度</p>		
<p>R6 年度</p>		
<p>R7 年度</p>		
<p>R8 年度</p>		

【目標・実績】

項目	R4		R5		R6		R7		R8	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①愛媛県内経済動向情報の集約	四半期毎	4回	四半期毎		四半期毎		四半期毎		四半期毎	
②宇和島管内経済動向情報の集約	2回	1回	2回		2回		2回		2回	
ホームページでの公表回数	4回	0回	4回		4回		4回		4回	
商工会だよりきほく発行回数	4回	4回	4回		4回		4回		4回	

【R4 評価内容】

①県内の経済動向は毎月の分析結果を四半期で集約。商工会だよりきほくにて集約情報を公開し小規模事業者に周知した。

②宇和島管内の経済動向情報は本年度「経営改善貸付支援団体連絡協議会（マル経協議会）」が1回のみで開催であったため、目標未達であるが、関係機関との連絡を随時実施し情報の把握に努めた。

ホームページは今後随時情報公開していく予定である。

<事業区分> 4 需要動向調査に関すること

取組方針	<p>マーケットインの観点により鬼北町の地域資源を活用した商品を開発するため、買い手である消費者及び取引先（バイヤー）のニーズ等の需要動向調査を行い、小規模事業者に対する「売れる商品づくり」や「消費者ニーズを捉えた商品開発」等による新たな販路の開拓を支援する。</p> <p>① 消費者ニーズを捉えるための需要動向調査 ② 商談会におけるバイヤーへの需要動向調査</p>	
実施事業の概要		
年度	事業概要	摘要
R4年度	<p>① きじ汁についてのアンケート調査実施 調査実施場所をねんりんピックリハーサル大会に変更し、特産品「キジ」の商品力向上のための調査を実施。調査結果を集計・分析の上、対象事業者へのフィードバックを実施。</p> <p>② 商談会におけるバイヤーへの需要動向調査 展示会出展での調査は実施できなかったが、代替事業として審査会型マッチング品評会への出品支援を実施し、バイヤーからの品評意見を得た。</p>	※資料別紙
R5年度		
R6年度		
R7年度		
R8年度		

【目標・実績】

項目	R4		R5		R6		R7		R8	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①消費者に対する需要動向調査対象事業者数	2者	1者	2者		2者		2者		2者	
②バイヤーに対する需要動向調査対象事業者数	2者	1者	2者		2者		2者		2者	

【R4 評価内容】

①予定では10月に開催されるイベント「でちこんか」に合わせ、道の駅広見森の三角ぼうしでの消費者ニーズ調査を実施する予定であったが、今年度はコロナ禍によりイベントが中止となったため、11月6日に開催されたねんりんピックリハーサル大会においてふるまい料理「きじ汁」を提供。その際に消費者アンケートを実施した。調査内容については分析の上、対象事業者へのフィードバックを実施した。

②バイヤーに対する需要動向調査に関しては今年度コロナ禍等により展示会（対面式）での出展支援がかなわなかったが、審査会型マッチング品評会「buyer's room11月の部」に1者が出品し、バイヤーの品評意見を得た。出品商品2品は計5社との商談に繋がっている。

また、消費者及びバイヤーの動向調査としてグルメ&ダイニングスタイルショー春2023へ視察研修を実施し、状況調査・次年度以降の出展支援に向けての研修を実施した。

<事業区分> 5 経営状況の分析に関すること

取組方針	<p>商工業の現状と課題を踏まえて、地域資源を活用した特産品開発（ブラッシュアップ含）を目指す小規模事業者の経営実態把握、経営課題及び強みの抽出からスタートし、事業計画の策定、新たな需要の開拓へと一連した支援につなぎ、活力のある企業を育成する。</p> <p>① 個別指導を通じた経営分析支援</p>	
実 施 事 業 の 概 要		
年度	事 業 概 要	摘 要
R4 年度	<p>① クラウド型経営支援システム Biz ミルを活用した経営分析支援 個別指導を通じて事業者情報及び事業環境の把握を実施、その後システム活用による情報の蓄積及び分析（定量・定性）を行ったものを対象事業者へフィードバック。その後の事業計画策定・補助金申請等に活用した。</p>	<p>経営分析及びフォローアップ件数：19件</p>
R5 年度		
R6 年度		
R7 年度		
R8 年度		

【目標・実績】

項目	R4		R5		R6		R7		R8	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
個別指導による経営分析事業者数	6者	19者	8者		10者		12者		12者	

【R4 評価内容】

クラウド型経営分析支援システム Biz ミルを活用しての分析件数。
実績件数は目標値を上回っているが、今後分析項目の増加や、各種ヒアリングツールを活用したより専門的な検証が必要と考える。

<事業区分> 6 事業計画策定支援に関すること

取組方針	<p>地域資源を活用した特産品開発や、災害対応等の事業継続支援を通じ事業者とともに事業の本質的な課題の抽出・将来の具体的行動計画まで明確にし、有効な事業計画書の策定に結び付けていく。また、策定段階でのDXに向けた取り組みを重点的に強化し、小規模事業者の競争力維持強化を目指す。</p> <p>① DX推進セミナー ② DX専門家派遣 ③ 事業計画策定セミナー</p>	
実 施 事 業 の 概 要		
年度	事 業 概 要	摘 要
R4 年度	<p>① DX推進セミナー 新型コロナの影響により、開催が見送られたが、代替として愛媛県商工会連合会主催のDXセミナー（オンライン開催）に会員事業所が参加。</p> <p>③ 事業計画策定セミナー 新型コロナの影響により、開催が見送られたが、代替として個別指導による事業計画策定支援を実施。</p>	※資料別紙
R5 年度		
R6 年度		
R7 年度		
R8 年度		

【目標・実績】

項目	R4		R5		R6		R7		R8	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①DX推進セミナー	1回	1回	1回		1回		1回		1回	
②DX専門家派遣	随時	0者	随時		随時		随時		随時	
③事業計画策定セミナー開催数	1回	0回	1回		1回		1回		1回	
事業計画策定事業者	5者	10者	6者		7者		8者		8者	
創業計画策定事業者	2者	4者	2者		2者		2者		2者	
事業承継計画策定件数	1件	0件	1件		1件		1件		1件	

【R4 評価内容】

①コロナ禍によりセミナー開催を見送った状況であったが、県連主催のDXセミナーに1者参加。計画内のセミナーでは5~10者参加を想定していたため、事業効果としては満足のいくものではなかった。

②DX 専門家派遣は今年度実施無し。

③コロナ禍によりセミナー開催を見送った状況であったが、補助金申請支援・金融支援等を通じて個別対応により、事業計画策定事業者10者・創業計画策定者4者の計画策定を支援した。

事業承継計画策定件数は今年度実績無しであったが、事業承継に関するアンケートの実施を行い、次年度以降の計画策定に繋げていく予定である。

<事業区分> 7 事業計画策定後の実施支援に関すること

<p>取組方針</p>	<p>事業計画を策定した全ての事業者を対象にフォローアップを行うこととし、経営指導員が巡回指導・窓口相談を定期的を実施することで計画の進捗状況を確認し、目標達成（特に売上・利益の検証）に向けた支援を実施する。</p> <p>① 四半期ごとの進捗状況確認（第1～3四半期） ② 計画・実績の検証（第4四半期） ③ 公的施策の活用促進</p>	
<p>実 施 事 業 の 概 要</p>		
<p>年度</p>	<p>事 業 概 要</p>	<p>摘 要</p>
<p>R4 年度</p>	<p>① 事業計画策定事業者へのフォローアップ 事業計画策定事業者（補助金申請含む）に対し、進捗状況の確認を実施。効果的な対応についてアドバイス等。 ② 事業計画策定事業者の検証 売上高・利益率の検証を重点的に実施。 ③ 基幹業務・補助金申請支援・関係機関との連携による各種支援を随時実施</p>	
<p>R5 年度</p>		
<p>R6 年度</p>		
<p>R7 年度</p>		
<p>R8 年度</p>		

【目標・実績】

項目	R4		R5		R6		R7		R8	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
フォローアップ対象事業者数	5者	10者	6者		7者		8者		8者	
フォローアップ回数 (延数)	20回	30回	24回		28回		32回		32回	
売上 10%以上の増加事業者数	2者	4者	3者		3者		4者		4者	
利益率 3%以上の増加事業者数	2者	4者	2者		3者		3者		3者	

【R4 評価内容】

補助金申請支援等による事業計画策定事業者に対して、事業進捗・事業実施後の事務処理対応等についてフォローアップを実施。

次年度以降短期的な事業計画ではなく、中長期的な計画に基づいたフォローアップ対象事業者を抽出し、支援対象とすること及び、収支計画にも伴走的に踏み込んでいく必要がある。

<事業区分> 8 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

取組方針	<p>鬼北町の特産品を活用した事業者・事業計画策定事業者等に各種展示会出展を呼びかけ、事前・事後の出展支援を実施し、販路開拓支援を行う。また、DX活用による販路開拓の理解度向上・導入支援・活用時の専門家派遣等、事業者の段階に合わせた支援を実施する。</p> <p>① 「えひめのすご味・すごモノ商談会」への出展 (BtoB) ② 「ニッポン全国物産展」への出展 (BtoC) ③ DX活用による販路開拓支援 (BtoB)</p>	
実 施 事 業 の 概 要		
年度	事 業 概 要	摘 要
R4 年度	<p>① 「えひめのすご味・すごモノ商談会」への出展 (BtoB) 令和4年度は開催が見送られたため、計画の商談会への出展は無いが、別途、審査会型マッチング品評会 (バイヤーズルーム) への出品支援を実施した。</p> <p>② 「ニッポン全国物産展」への出展 (BtoC) コロナ禍により出展を見送ったが、販売委託型展示販売会 (冬の巣ごもりフェア in ルミネ立川) での出展支援を実施した。</p>	<p>※資料別紙</p> <p>※資料別紙</p>
R5 年度		
R6 年度		
R7 年度		
R8 年度		

【目標・実績】

項目		R4		R5		R6		R7		R8	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①えひめのすご味・すごモノ商談会	特産品製造業者数	2者	1者	2者		2者		2者		2者	
	1者あたりの商談件数	2件	5件	2件		2件		2件		2件	
	1者あたりの商談成立件数	1件	継続中	1件		1件		1件		1件	
②ニッポン全国物産展	出展事業者数	1者	1者	1者		2者		2者		2者	
	1者あたりの売上額	10万円	2.7万円	10万円		10万円		10万円		10万円	
③(イ) SNS活用	SNS活用事業者数	2者	8者	4者		6者		8者		8者	
	売上増加率	5%	16%	5%		5%		5%		5%	
③(ロ) ECサイト活用	ECサイト利用事業者数	1者	2者	2者		3者		3者		3者	
	売上増加率	5%	4%	5%		5%		5%		5%	

【R4 評価内容】

①今年度実施を見送られたため、同等以上の効果を見込まれる「バイヤーズルーム」(※審査会型マッチング品評会)に1事業者のエントリー支援～事後評価、商談に向けたフォローアップまで支援を実施した。商談件数は5件獲得し、今後の営業に繋げている。

②コロナ禍により出展を見送ったが、代替事業として「冬の巣ごもりフェア in ルミネ立川」(※販売委託型展示販売会)に1事業者出品した。コロナ禍による移動が制限される中、商品発送のみで出品できたため、事業者のリスク軽減にも効果が高かった。

③(イ) SNS活用では、商工会(指導員)のアカウントを新規作成し、活用事業者をフォロー、拡散することで、広域な商圈への宣伝効果を得られた。

③(ロ) 現時点でECサイトニッポンセレクト.comに登録している事業者は2者(3商品)であり、次年度以降更なる拡大を目指す。

次年度以降の展示会出展時に円滑な支援を実施できるよう、グルメ&ダイニングスタイルショー春2023(2/15.16.17開催 東京ビッグサイト)で研修を実施した。

<支援能力向上の取組> 9 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

<p>取組方針</p>	<p>経営発達支援事業を円滑に推進するため、当該年度の事業を評価し次年度に向けた見直し・改善を協議し PDCA サイクルの構築を図る。</p> <p>開催時期：毎年 3 月</p> <p>構成委員：</p> <p>委員長 商工会会長</p> <p>委員 商工会副会長 2 名</p> <p>商工会事務局長</p> <p>法定経営指導員</p> <p>愛媛県商工会連合会 経営支援課長</p> <p>鬼北町 企画振興課</p> <p>外部有識者 伊予銀行近永支店長</p> <p>外部有識者 愛媛銀行近永支店長</p> <p style="text-align: right;">計 9 名</p>	
<p>実 施 事 業 の 概 要</p>		
<p>年度</p>	<p>事 業 概 要</p>	<p>摘 要</p>
<p>R4 年度</p>	<p>令和 5 年 3 月 24 日（金）14：30～ 開催</p>	
<p>R5 年度</p>		
<p>R6 年度</p>		
<p>R7 年度</p>		
<p>R8 年度</p>		

<支援能力向上の取組> 10 経営指導員等の資質向上等に関すること

取組方針	経営発達支援事業を円滑に推進するため、職員個人の資質向上及び職員全体の支援ノウハウの共有・支援体制の強化等、複雑化する経営課題に対応できる支援能力の向上を図る。	
実 施 事 業 の 概 要		
年度	事 業 概 要	摘 要
R4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講習会の積極的参加 ・ 中小企業大学校研修への参加 専門研修（1名）、基礎研修（2名） ・ 職員 OJT の開催、定期ミーティング ・ 先進事例研修（食料品展示会・高級スーパー視察） グルメ&ダイニングスタイルショー春 2023 新宿高島屋 新宿伊勢丹 紀伊國屋 恵比寿アトレ(成城石井) 品川クイーンズ伊勢丹 他 	
R5 年度		
R6 年度		
R7 年度		
R8 年度		

令和4年度 経営発達支援事業評価書（集計）

令和5年3月24日

事業評価委員氏名 _____

下記の通り令和4年度経営発達支援事業について評価します。

評価基準	A…目標を達成することができた	(100%)
	B…概ね目標を達成することができた	(70~99%)
	C…改善の余地あり	(30~69%)
	D…要改善	(0~29%)

自由意見

事業区分 3 地域の経済動向調査に関すること

A . B . C . D

A…1・B…7・C…1・D…0

事業区分 4 需要動向調査に関すること

A . B . C . D

A…3・B…1・C…5・D…0

事業区分 5 経営状況の分析に関すること

A . B . C . D

A…6・B…3・C…0・D…0

事業区分 6 事業計画策定支援に関すること

A . B . C . D

A…1・B…7・C…1・D…0

事業区分 7 事業計画策定後の実施支援に関すること

A . B . C . D

A…5・B…4・C…0・D…0

事業区分 8 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

A . B . C . D

A…0・B…6・C…3・D…0

・町と連携した行事開催と合わせてアンケート調査を実施され、上手に実施されたと思われる

・商工会職員によるDX支援として、グーペを含めてみてはいかがでしょうか

・先進事例研修など積極的に取り組まれており、県連担当者としても是非情報交換させていただければと思います。

■令和4年度事業についてのご意見、ご質問等

・販路開拓を中心に全国連・県連事業を活用いただきありがとうございます。

■次年度以降の事業に対するご意見、ご提言等

・引き続き連携支援をさせていただきたく、よろしくお願いいたします。